Pioneer sound.vision.soul

取扱説明書

お取り扱いについてお困りのとき

http://pioneer.jp/support/

カスタマーサポートセンター

フリーフォン **0070-800-8181-22**

一般電話 **03-5496-2986**

受付時間
月曜～金曜
9:30～18:00
土曜・日曜・祝日
9:30～12:00、13:00～17:00
(弊社休業日を除きます。)

※ フリーフォンおよびフリーダイヤルは、携帯電話・PHSからはご利用になれません。一般電話は、携帯電話・PHSからご利用可能ですが、通話料がかかります。

パワードサブウーファー

安全上のご注意

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は「保証書」、「ご相談窓口のご案内･修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

付属の「安全上のご注意」もお読みください

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

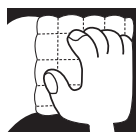
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お手入れについて

付属のつや出しクロスでから拭きしてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は化学ぞうきん等に付属の注意事項をよくお読みください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも1つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

サブウーファーご使用時のエチケット

サブウーファーは耳に聞こえにくい超低音を再生します。超低音は壁や床を通して漏れていきますので、音量には十分気を配ってください。

⚠ 警告 [異常時の処置]

●万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

●付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。
また、電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

●機器本体の電源（POWER）スイッチを切っても、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。旅行などで長期間この製品をご使用にならないときには、安全のため必ず電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

●電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置してください。

特長

■ ダイナミックレンジの大きいドルビーデジタル *などの映画ソフト再生に追従する 300 W のハイパワー。

■ クロスオーバー周波数設定
（50 Hz、60 Hz、70 Hz、80 Hz、100 Hz、120 Hz、160 Hz、200 Hz)。

■ 30 cm ウーファーによる迫力の重低音。

■ ソースに柔軟に対応するため、BASS MODE セレクターSWを搭載。（MUSIC/CINEMA を選択可能）

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

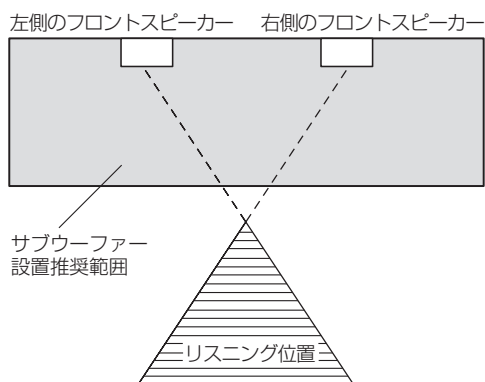
ご使用の前に

付属品の確認

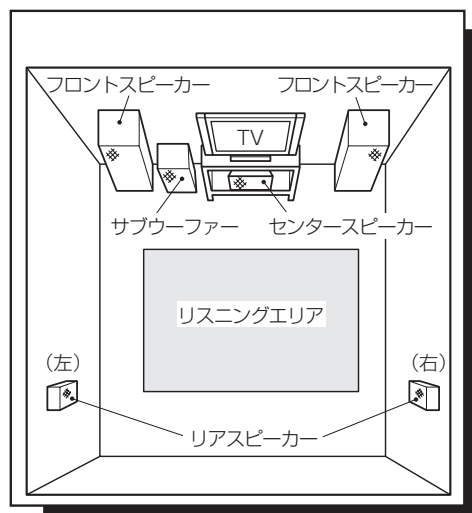
- 電源コード × 1
- 安全上のご注意 × 1
- つや出しクロス × 1
- RCA ピンコード × 1
- 保証書 × 1
- 取扱説明書（本書）

設　置

スピーカーの設置

サブウーファーは、人間の耳が低音域において方向がわかりにくくなることを利用し、重低音をモノラルで再生します。そのため、設置場所はかなり自由になりますが、あまり離れた場所に置くとサブウーファー以外のスピーカーとの音のつながりが不自然になる場合があります。

- サブウーファー正面をリスニング位置に向けてください。

サラウンド効果を最大限に発揮させるため、右図のようなスピーカーの設置をお勧めします。

【設置例】

- テレビの近くに設置するスピーカーは防磁型のものをお使いください。
- 左右のスピーカーはテレビから等距離になるように設置してください。
- リア（サラウンド）スピーカーはリスナーの真横または少し後方で、耳の位置から約　1 m　位上方に水平方向に設置すると効果的です。

設置上の注意

- 本機を設置する場合は、放熱を良くするため他の機器や壁などから十分な間隔をとってください(天面 25 cm以上､後面 15 cm以上、右側、左側各 10 cm 以上)。本機と壁および他の機器との間隔がとれないと、内部に熱がこもり、性能不良や故障の原因になります。また、十分な低音が再生できないことがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。また、塗装にひびが入った場合に、補修できなくなる可能性があります。
- 本機の上に液体を入れた容器を置かないでください。容器が倒れた場合、故障の原因となります。
- 設置場所は床面のしっかりした場所を選んで設置してください。毛足の長いじゅうたんの上などに設置すると、じゅうたんが振動板に触れて、異音を発生することがあります。

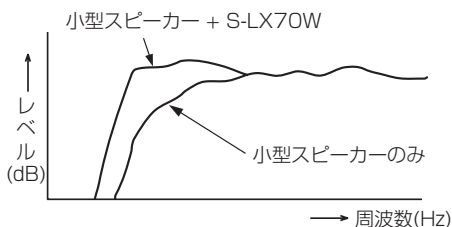
次のような場所には設置しないでください

- ■ 直射日光の当たる場所、暖房器具に近い場所。
- ■ 風通しが悪く、湿気やホコリの多い場所。
- ■ 振動や傾斜のある、不安定な場所。
- ■ アルコール類やスプレー式の殺虫剤など、引火性のものを使用する場所。
- ■ カセットデッキなど、磁界に影響される機器の近く。

チューナーのアンテナケーブルから離して設置してください

近くに置いた場合に雑音が出ることがあります。このようなときはアンテナやアンテナケーブルから本機を離してご使用になるか、やむを得ない場合は本機の電源を切ってください。

スピーカーシステムとの組み合わせ

- S-LX70Wを小型スピーカーシステムと組み合わせると、下図の様な特性が得られ、低音域が増強されます。

- ドルビーデジタル*の再生においては､サブウーファーの専用再生チャンネルの設定を推奨しており、特にLFE（Low Frequency Effect= 映画などの迫力を増すための地鳴りのような効果音）の再生に対してS-LX70W は有効です。

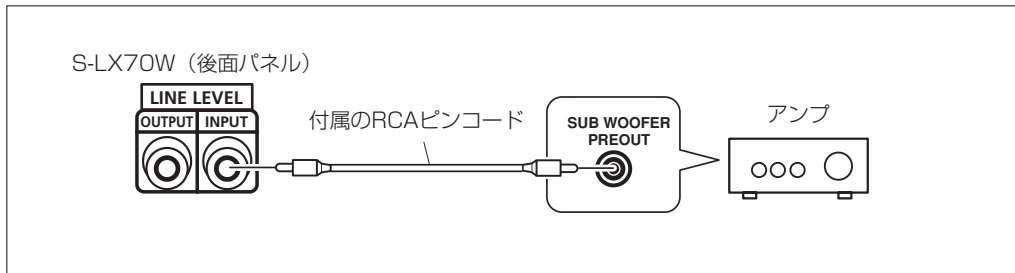
＊ドルビーデジタルについて

ドルビーデジタルは、ドルビーサラウンドからドルビープロロジックサラウンドと継続して発展してきたドルビーサラウンドのマルチチャンネル、デジタルシステムの名称です。

ドルビーデジタルは5.1 チャンネルシステムとも呼ばれます。20 Hz 〜 20 kHz までの周波数範囲を持つ 5 チャンネル（フロント左 / 右、センター、リア左 / 右）と、独立したサブウーファー用チャンネルを持っているためです｡サブウーファー用チャンネルは､LFE（Low Frequency Effect）とも呼ばれています。

LFE チャンネルは、迫力ある低音を楽しみたいときに好みに合わせて使用するチャンネルとしています。

接続のしかた

- 機器の接続や変更を行う場合は、必ず本機とアンプ両方の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください

ラインレベルの接続

アンプにサブウーファー用のプリアウト端子がある場合の接続です。

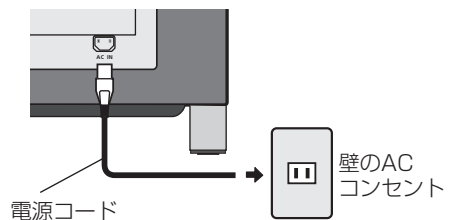
付属の RCA ピンコードで､本機の LINE LEVEL INPUT 端子と接続します。サブウーファー以外のチャンネルに小型スピーカーを使用する場合、アンプのバスマネージメント機能を使用するとサブウーファー以外のチャンネルの低音域を本機が代わりに再生するため、大型スピーカー並みの豊かな低音を再生することができます。

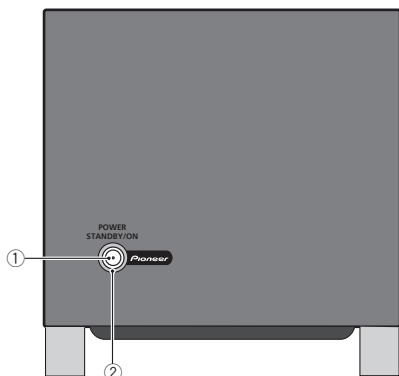
LINE LEVEL OUTPUT 端子が付いているので 2 台以上のパワードサブウーファーを接続することができます。このとき、すべてのサブウーファーのフェーズスイッチを同じ位置にそろえて使用してください。

ご注意

アンプの、サラウンド・センターチャンネル用のプリアウト端子と接続すると、センターチャンネルのみの低音となり、十分な低音が得られません。

電源コードの接続

アンプと本機の電源コードを本体の AC インレットと壁のコンセントに差し込んでください。電源スイッチを入れる順番は、アンプを先に、本機をあとにしてください。

各部の名称と使い方

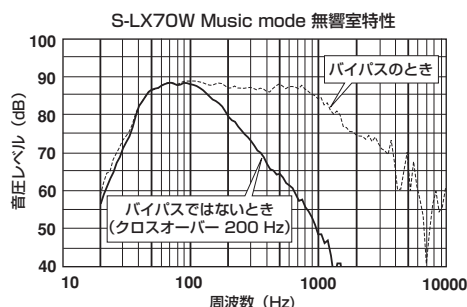
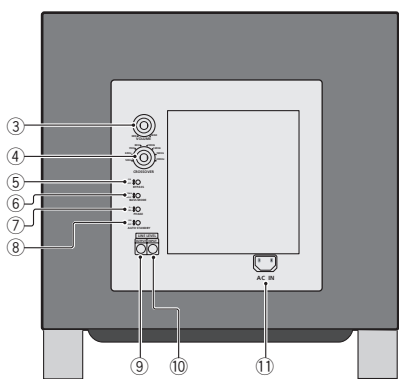
前面パネル

① **パワーインジケーター（STANDBY/ON）**
電源をオンにすると青色に点灯します。
信号のない状態が約 12 分以上続くと、オートスタンバイ機能が ON の場合は自動的にスタンバイ状態になります（インジケーターが赤く点灯します）。その後、信号が入力されると電源がオンになり、インジケーターが青色に点灯します。

ご注意
長時間使用しないときは電源をオフにして、インジケーターが消灯していることを確認してください。

② **電源ボタン（POWER）**
電源がオンになります。もう一度押すと、電源がオフになります。

後面パネル

S-LX70W Music mode 無響室特性

音圧レベル（dB）: 100, 90, 80, 70, 60, 50, 40
周波数（Hz）: 10, 100, 1000, 10000
バイパスのとき
バイパスではないとき
(クロスオーバー 200 Hz)

③ **ボリュームつまみ（VOLUME）**
サブウーファーの音量を設定します。
- 最小（MIN）位置からゆっくりと回してください。
- 本機は独自に重低音のレベルを設定できますので、アンプ側で低音の増強をしないでください。

④ **クロスオーバーつまみ（CROSSOVER）**
サブウーファーが再生する上限周波数を設定するつまみです。組み合わせるスピーカーに応じて上限周波数を設定してください（50 Hz、60 Hz、70 Hz、80 Hz、100 Hz、120 Hz、160 Hz、200 Hz）。

⑤ **バイパススイッチ（BYPASS）**
AV アンプのバスマネージジメント機能をご使用になるときは、ON* に設定して AV アンプのローパスフィルターを使用する方が高音質の低音が得られます。
* ON にすると、本機のアンプのフィルターを通さずに音声信号を直接ウーファーユニットに入力することができます。

⑥ **バスモードスイッチ（BASS MODE）**
MUSIC: 周波数特性がほぼフラットになります。主に音楽ソースをお楽しみになるときにお勧めします。
CINEMA: 低い周波数帯域が強調されます。低音の迫力が必要な映画ソフトを再生するときにお勧めします。

⑦ **フェーズスイッチ（PHASE 0°/ 180°）**
スイッチを右側にすると（180°）入力信号に対し出力の位相を逆にします。スイッチを左側にすると（0°）同位相になります。
- 通常は 0° で使用しますが、サブウーファーと左右スピーカーの音のつながりが不自然に聞こえる場合は切り換えてみて、自然に聞こえる方に設定してください。
- 2台以上のパワードサブウーファーを接続する場合、すべてのサブウーファーのフェーズスイッチを同じ位置にそろえて使用してください。

⑧ **オートパワーオン / オフ切り換えスイッチ（AUTO STANDBY）**
オートスタンバイ機能を ON または OFF にします。

● **オートスタンバイ機能**

オートパワーオン / オフ切り換えスイッチ ⑧ を ON（お買い上げ時は OFF になっています）にすると、オートスタンバイ機能が働きます。入力信号がない状態で約 12 分間が経過すると、電源が自動的にスタンバイ状態（オフ状態）になります。入力信号が入ると自動的に電源がオンになります。

ご注意

使用する環境によって、周辺機器からのノイズなどの影響を受けてオートスタンバイ機能が働き、電源がオンになってしまうことがあります。そのようなときはオートパワーオン / オフ切り換えスイッチを OFF にして、パワースイッチで電源のオン・オフをしてください。

⑨ **ラインレベルアウトプット端子（LINE LEVEL OUTPUT）**
本機を経由して、他の機器に接続するときに使用します。この端子からの出力信号は、本機のつまみ類の影響を一切受けません。

⑩ **ラインレベルインプット端子（LINE LEVEL INPUT）**
サブウーファー用プリアウト端子付のアンプと、付属の RCA ピンコードで接続します。

⑪ **電源コード接続端子（AC IN）**
電源コードを接続します。すべての接続が終わってから、最後に AC インレットと壁のコンセントとを付属の電源コードで接続してください。

⚠ 注意

●パワーインジケーターが消灯している状態でも、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには安全のため必ず電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

使い方

1. 電源ボタン②を押します。

● 電源を入れるときは、アンプの電源をオンにしてから本機をオンにしてください。電源を切るときは、本機の電源をオフにしてから、アンプの電源をオフにしてください。

2. アンプを操作して音を出し、本機以外のスピーカーの音量を調整します。

3. ボリュームつまみ③で音量を調整します。

● 必要に応じてクロスオーバーつまみ④とフェーズスイッチ⑦を操作し、さらにボリュームつまみ③で調整してください。また、お好みによってバスモードスイッチ⑥で MUSIC と CINEMA を切り換えてください。

4. 使用後は電源ボタン②を押してオフにします。

● パワーインジケーターが消灯します。

仕 様

アンプ部

最大出力..500 W（PEAK）
実用最大出力（100 Hz、10 %、4 Ω）
....300 W（JEITA）
入力端子（感度 at 100 Hz/インピーダンス）
LINE LEVEL..............................160 mV/33 kΩ
出力端子（レベル at 100 Hz/インピーダンス）
LINE LEVEL.................................160 mV/1 kΩ
クロスオーバー周波数...........50 Hz/60 Hz/70 Hz/
80 Hz/100 Hz/120 Hz/160 Hz/200 Hz
位相切換...0°/180°（切換）

スピーカー部

形式..................密閉式キャビネット型（低磁気漏洩）*
スピーカー
ウーファー.....................................30 cm コーン型

電源部・その他

電源..................................AC100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力..90 W
スタンバイ消費電力..1.0 W
外形寸法..
362（幅）mm X 365（高）mm X 362（奥行）mm
質量..18.2 kg

付属品

電源コード...1
RCA ピンコード（3 m）...1
安全上のご注意..1
つや出しクロス..1
保証書...1
取扱説明書（本書）

- 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

＊ 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムですが、設置の仕方によっては、色むらが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15分から 30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能より、画面への影響が改善されます。その後も色むらを発生するような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。近くに磁石や磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色むらを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

はパイオニア(株)の開発したPHASE CONTROL技術を用いて低域の遅れのない高品位5.1chサラウンドを実現した製品に付与される商標です。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障と思われています。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気器具もあわせてお調べください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。（パワースイッチを押してもインジケーターが点灯しない。）	● 電源コードが正しく接続されていない。	● プラグを正しく接続してください。
音が出ない。（インジケーターは青に点灯する。）	● VOLUMEつまみがMIN位置になっている。 ● RCA ピンコードの接続が正しくない、または外れている。	● VOLUMEつまみをゆっくり右に回してください。 ● 接続を確認し、正しく接続してください。
音が歪む。	● 音量が大きすぎる。	● VOLUMEつまみを左に回し、音量を下げてください。 ● アンプ側で低音の増強をしないでください。

保証とアフターサービスについて

保証書（別添）について

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。保証期間はご購入から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 8 年です。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。

所在地、電話番号は 13 ページの「ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

上記に従って調べていただき、なお異常のあるときには、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- 電話番号
- 製品名：パワードサブウーファー
- 型番：S-LX70W
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問のご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

故障や事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、『保証とアフターサービスについて』（上記)をお読みのうえ、修理受付センター（P.13）に点検をご依頼ください。

K026_Ja

サービス拠点のご案内

サービス拠点への電話は、修理受付センターでお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービスステーション）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付センターにご確認ください。

●北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆札幌サービスセンター	FAX　011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX　0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX　0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX　0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆仙台サービスセンター	FAX　022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX　023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX　024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX　019-659-1895	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX　017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX　0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野3-16-8
秋田サービス認定店	FAX　018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目346-1

●東京都内

受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
世田谷サービスステーション	FAX　03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
北東京サービスステーション	FAX　03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX　042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1F

●関東・甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆千葉サービスセンター	FAX　043-207-2555	〒263-0014	千葉市稲毛区作草部町1369-1　椎の実ハイツ1F
松戸サービス認定店	FAX　047-340-5052	〒270-0021	松戸市小金原4-9-23
水戸サービス認定店	FAX　029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX　0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆埼玉サービスセンター	FAX　048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX　049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX　028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-1
群馬サービス認定店	FAX　0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX　025-374-5756	〒950-0982	新潟市堀之内南1-20-11
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX　0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆神奈川サービスセンター	FAX　045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX　045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南1-19-17
神奈川西サービス認定店	FAX　046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX　04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX　0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX　026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX　055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆名古屋サービスセンター	FAX　052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX　0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX　059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX　058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービス認定店	FAX　054-237-5691	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-6-5
沼津サービス認定店	FAX　055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX　053-422-1401	〒435-0042	浜松市篠ヶ瀬町415　ビラモデルナ5号
金沢サービス認定店	FAX　076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX　076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX　0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区				受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
☆大阪サービスセンター	FAX	06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
大阪南サービス認定店	FAX	0722-75-2625	〒593-8322	堺市西区津久野町1-8-15　ローズマンション1F
神戸サービス認定店	FAX	078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土4-2
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東3-1-25
京都サービス認定店	FAX	075-352-2588	〒600-8322	京都市下京区西洞院通五条東南角小柳町513-2　五条久保田ビル1F
奈良サービス認定店	FAX	0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国・四国地区				受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
☆広島サービスセンター	FAX	082-248-9939	〒730-0041	広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F
岡山サービス認定店	FAX	086-244-8748	〒700-0975	岡山市今8-15-21
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクビット内
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX	0857-29-1290	〒680-0061	鳥取市立川町5-240-1
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービスステーション	FAX	087-861-4841	〒760-0078	高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1F
松山サービス認定店	FAX	089-911-5608	〒791-8013	松山市山越5-12-8

●九州地区				受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
☆福岡サービスセンター	FAX	092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX	093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX	097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
鹿児島サービス認定店	FAX	099-201-3803	〒890-0046	鹿児島市西田3-8-24　サニーサイド21 1F
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1

●沖縄県				受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
沖縄サービスステーション	TEL	098-879-1910	〒901-2113	浦添市大平2-2-6
	FAX	098-879-1352		

平成19年5月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品　■フリーフォン 0070−800−8181−22　■一般電話　03−5496−2986

■ファックス　03−3490−5718

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～19:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　フリーダイヤル 0120−5−81028（ゴーパイオニア）　■一般電話　03−5496−2023

■ファックス　フリーダイヤル 0120−5−81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−879−1910

■ファックス　098−879−1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　フリーダイヤル 0120−5−81095　■一般電話　0538−43−1161

■ファックス　フリーダイヤル 0120−5−81096

平成19年5月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.023

インターネットによるお客様登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

パイオニア株式会社

〒 153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<SRA1455-A>